

科目名	保健・体育I Physical Education I			担当教員	中瀬 巳紀生 吉澤 恒星		
学年	1年	学期	通年	履修条件	必修	単位数	3
分野	一般	授業形式	実技・講義	科目番号	12120008	単位区分	履修単位
学習目標	様々なスポーツ種目の実践を通じて、①健全な身体の発達及び体力の向上、②生涯スポーツ実践のための基礎スキル獲得、③技術者として求められるチームワーク（団体行動）やルール遵守といった模範的な態度の醸成、④健康に対する基本的な知識の習得、を目指す。						
進め方	学習目標①～③に対応して、スポーツ種目の実践を実技形式の授業でおこなう。学習目標④に対応して「保健」の授業を講義形式でおこなう。						
学習内容	学習項目（時間数）			学習到達目標			
	オリエンテーション（HR1） 保健（HR7） スポーツテスト（体育館1・運動場3） ソフトバレーボール（体育館7） ソフトボール（運動場5）			スポーツテストは文部科学省制定の新体力テスト実施要項に沿っておこなう。 実技の授業は全て出席し、実際に身体を動かす。 実施する種目毎に基礎スキルの実技テストを行う場合がある。 保健の授業では「現代社会と健康」について理解を深める。 ・学習・教育目標：（A・C・D）			
	[前期中間試験] 実施しない						
	水泳（プール8） ドッジボール（体育館3） ソフトボール（運動場3） 保健（HR7）			実技の授業は全て出席し、実際に身体を動かす。 実施する種目毎に基礎スキルの実技テストを行う場合がある。 水泳においては、泳力を高めるとともに、授業への参加状況を評価する 保健の授業では「生涯を通じる健康」について理解を深める。 ・学習・教育目標：（A・C・D）			
	前期末試験 保健の内容のみ実施						
	スポーツ大会練習（体育館1・運動場1） バレーボール（体育館7） サッカー（運動場3） 持久走（運動場4 男子3km 女子2.1km） 保健（HR8）			実技の授業は全て出席し、実際に身体を動かす。 実施する種目毎に基礎スキルの実技テストを行う場合がある。 持久走においては、走力を高めるとともに、授業への参加状況を評価する 保健の授業では「社会生活と健康」について理解を深める。 ・学習・教育目標：（A・C・D）			
	[後期中間試験] 実施しない						
バスケットボール（体育館7） サッカー（運動場7） 保健（HR7）			実技の授業は全て出席し、実際に身体を動かす。 実施する種目毎に基礎スキルの実技テストを行う場合がある。 保健の授業では「体育編」について理解を深める。 ・学習・教育目標：（A・C・D）				
後期末試験 保健の内容のみ実施 試験返却(1)			・学習・教育目標：（A・C・D）				
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・評価の割合は実技30%、保健20%、実技出席状況50%とする。</li> <li>・実技出席状況は見学を-1点とし、欠課を-50/30点として50点満点で評価する（半期毎）。なお、特別な事情がある場合は考慮する。</li> <li>・服装頭髪や実技中の行動などマナーが守れない者については減点する。</li> </ul>						
履修要件	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実技では指定の体操服を着用すること。</li> <li>・水泳授業時は水着・帽子を着用すること。</li> <li>・体育館では指定の体育館シューズを履き、運動場では運動靴を履くこと（革靴等不可）。</li> </ul>						
関連科目	保健体育I（1年）→保健体育II（2年）→保健体育III（3年）→保健体育IV（4年）→保健体育V（5年）						
教材	教科書：現代保健体育（大修館書店）						
備考	グラウンド状況が不良の場合は、特に運動場での実施種目について学習内容を変更する。 この科目は、「香川高等専門学校単位追認試験実施申合せ」第8条1項に該当する科目であり、本年度内及び進級後に単位追認試験を実施しない。この科目の単位修得が進級要件となるので、必ず修得すること。						